

市政を問う!! 一般質問

12月定例会の一般質問は、12日、13日の両日行われ、8名の議員が市政各般にわたり行われました。

一般質問の原稿は、各発言議員が作成しています。



風呂 繁昭
議員

「経済の活性化と財政」について。

問① 建設業は「雨」卸売業「雨」宿泊業、飲食サービス業は「くもり」先行き見通しも厳しい経済状況の中、各企業廻りをして現状を捉え、どう対策を講じ雇用拡大、企業立地、地元事業者への支援策の考えは。

答 住宅関係の工事や住宅リフォーム等に補助制度創設を検討する。

問② 6次産業化農商工連携の今後の取り組みと加工販売業者に市独自の補助制度を求める。

答 市独自の補助制度に加え未利用資源の活用

可能性を調査し各種施策を議論している。

「市街地活性化」について。

問③ 文化遺産活用やまち歩き観光の空間整備は。答 町並みを紹介する映像の作製や看板を設置体験できるソフト事業を検討まち歩きツアーの企画、電線的美装化無電柱化を進める。

問④ 保健福祉の一体化、拠点施設について。

答 福祉全般の相談体制の一元化を図り、福祉の拠点整備の協議を重ねる。

問⑤ 小浜市中心市街地活性化基本計画について。

答 計画策定に至っていない。今後取りまとめる。



能登 恵子
議員

問① 「雇用対策募集において公平・公明性の担保」その募集の周知方法と採用方法は。

答 市の直接事業と民間企業はハローワークへ。広報等で周知し、面接、試験などの後優秀な人材を採用。シルバー人材センターでは、新規入会者を原則採用。

問② 市の事業は福祉、その枠を作らないのか。

答 難しい。

問③ 「市の原子力防災指針の見直しについて」原子力災害の大きな問題点は、五感で危険を知ることが出来ない。来年3月まで防災

の見直しをしなくてはならないが、その進捗状況とスフィア視点の指針を。

答 県は、県の指針はあくまで暫定、広域避難については国がその基準を示すべきと。原則自家用車での避難となり、5キロ圏内を優先させる。自家用車のない方(病院や各種施設の方、時間帯により児童生徒等)には市等の関係機関で準備することが必要。スフィア(災害弱者)への指針は、非常に大切なことで、検討委員会構成に配慮し、各種団体、施設等の意見、パブコメもする。



下中 雅之
議員

問① 小浜市水道ビジョンの位置付けを伺う。

答 小浜市水道ビジョンはもともと安全でおいしい水を将来にわたり安定して供給し続けるため、小浜市水道事業が抱える課題を十分把握し、将来の水道事業の目指すべき事業計画として捉えている。細かいものを定めた実施計画とは異なると認識している。

問② 地下水調査のスケジュールについて伺う。

答 平成25年度から27年度までの3カ年計画で、小浜平野の河川流量や井戸の地下水位の変化などを24ヶ月間観測する現況調査を

実施し、必要に応じてボーリング調査を行う予定。そのデータを解析して水収支を推計し、使用可能な地下水量を把握する予定。

問③ 水道事業は浄化場の建設以外にも多くの課題をクリアしなければ市民負担の影響も大きくなると思われるが、市長の所見を伺う。

答 厳しい経済情勢の中、市民の皆様の負担を増加させることはできうる限り避けることが基本と考え、今後一層の支出の削減や収入の確保し、健全経営の確保と経営の効率化により市民負担の軽減に努めたい。



小澤 長純
議員

問① クリーンセンターの運転期間延長について平成22年11月の谷田部区への説明会以後なぜ協議の場を要請しなかったのか。

答 協議が進まず、区民の皆様と意思疎通が図れなかったことは申し訳なく思っている。

問② はっきりとした延長期間の年数提示は？

答 近隣町との広域化に取り組む中で、協議していきたい(目標としては10年程度)。

問③ 地域包括支援センター相談窓口の個室相談室の設置について。

答 スペースの問題もあり難しい状況である。

問④ 平成26年度にはケアマネージャーが不足する事態が予想されるが、その対応策は。

答 居宅介護支援事業所と連携を密にして対応。

問⑤ ヘルパー・看護師が不足する中、「地域密着型サービス」の将来ビジョンについて。

答 第6期の介護保険事業計画に向けてニーズ調査を実施し、今後のサービス提供を検討。

問⑥ 空き家管理の窓口と危険状態の空き家数は都市整備課が窓口であり、戸数については把握していない。

問⑦ 条例制定を視野に入れた危険な空き家対策が必要と考えるが所見を聞きたい。

答 条例制定も含め、危険な空き家対策の方向性を引き続き検討していきたい。



西本 清司
議員

問① 公民館の在り方について、従来の社会教育法を主とした運営・組織では現在の地区の実情・要望等に添うことが出来ないのではないか。また、合わせて職員体制の検討も要する時期にきているのではないかと。

答 従来の社会教育学習の拠点から地域づくりの場へと変遷しているのは事実である。また、防災拠点や行政の出先機関としての機能も必要であり今後は市が掲げる協働のまちづくりにふさわしい地域拠点としての公民館運営を検討していきたい。

問② 観光について、観光施策としての温泉開発で観光のまちをより推進してはどうか。食文化館の今後の運営主体の在り方や方向性はどのように考えるのか。

答 温泉開発は市民の盛り上がりが必要であるとともに、民間主体の管理運営体制の構築が重要課題で条件が整えば開発は可能と考える。食文化館の今後の運営主体のあり方については、小浜市行政経営プランに基づき濱の四季を含めた検討の中で、平成25年度中に方向性を出していきたい。



三木 尚
議員

問① 新幹線若狭ルートを強力に推進すべきである。当市で促進の決起大会をやってはどうか。

答 (市長)全力で取り組む。

問② 企業誘致のためにも市独自の工場用地を早急に確保していくべき。

答 現状で努力する。

問③ (要約) 継続取組中の水道問題では水源地視察と情報公開条例で公文書を確認して、現在の浄水場建設計画は全く必要がないと主張しました。平成22年の水道ビジョン策定委員会で担当課が実際には無い水質悪化

の不安を言い、当市の地下水が無くなると委員を誘導して浄水場建設計画を盛り込んだこと等を議事録から明らかにしました。今議会で課長は試算で当市の地下水量が日量68万トと答弁し必要量1.3万トの50倍もあることを確認しました。県立大学の先生も試算され数値はほぼ正しくこれほど地下水の豊富な小浜に北川の表流水を汲み上げての浄水場は疑問との見解です。70億の巨費をかけ2.5倍以上の料金負担を市民に強いる計画は無駄のきわみです。

録画配信始めました!!

インターネットで本会議の録画配信が視聴できます。

(要ブロードバンド環境)

この機会にぜひご覧ください。

小浜市議会 | 検索



ケータイで

議会情報をGet!!



URL はここから →



清水 正信
議員

問① 原子力安全協定の連絡通報体制が立地同様に修正され、市民の安全安心の確保の観点から評価できる、今後の取り組みについて

答 この見直し修正案で締結し、立ち入り調査権など今後も事業者と協議を継続していく

問② 西津橋大手橋の架け替え事業に国の採択が決定。今後のスケジュールについて伺う。

答 事業期間は2012～23年度進捗状況によるが、16年度には架け替え部分に着手したい。

問③ 道路勾配が現状よりきつくならないように

答 国や県に働きかけていく。

問④ 旧旭座について、行政が音頭をとってイベントを展開し、箱物・駐車場を作っても街はよみがえらない必要な負担と覚悟を市民に求める政治が必要。何が出来るのか問う。協働のまちづくりが活力ある明るい未来の実現に向けた推進力となると考える。

答 観光まちづくり推進会議で検討していく。

問⑤ 若狭ルート実現の決意と東海道新幹線米原駅で1日当たり上下線それぞれ150本(1時間当たり10本)、のぞみ号が素通りしている1時間に1本停車できないか。

答 全力で取り組む、協議していく。



松崎 圭一郎
議員

病める虐め問題について。

問① 子供達と密接な繋がりがあるPTA、本来ならこの組織は、父母と教師と地域が一体となり子供を育てべき団体であるが、教師や学校を吊し上げる事に奔走するような団体もあるやに聞か、如何に考えるか。

答 学校と保護者や地域の意見交換が必要と考える。取り分けPTAとは、学校との連携を図る中で、保護者と教師のコミュニケーションを取ることが重要だと考える。

問② 教育委員会や学校は、モンスターペアレン

トのような保護者の下で萎縮しているように思える。犯罪が低年齢化する中で子供への温情主義だけでは、虐めや暴力などは無くならない。また、対応方法としての少年法については如何に考えるか?

答 該当する子供の犯罪の内容や矯正の見込み等を、総合的に判断し適宜適切な判断を取って行く。

問③ 学校側の情報開示は、まだまだ不十分に思われるが、如何に考えるか?

答 必要に応じて保護者に情報を伝えている。

委員会管外視察報告

総務民生常任委員会

とき 11月1日(木)～2日(金)

アをうまく活用して「介護予防の推進」と「地域ネットワークづくり」に取り組んでいました。

◎和歌山県田辺市

防災行政無線の運用、台風12号の豪雨災害の経験を生かした防災対策

平成23年9月、台風12号による記録的な豪雨で田辺市は、被害状況や豪雨災害に対する対応が適正であったかどうかの検証を行い、今後の危機管理に役立てるため、「災害の記録」としてまとめられていました。災害対応の反省点や課題等を研修し、今後の小浜市の防災行政無線の運用や対策の参考になりました。



平成23年台風第12号による災害の記録

◎奈良県生駒市

介護予防事業について
国のモデル事業になっている生駒市は、「介護予防」と「高齢者のいきがい」は一体であるという発想から、高齢者ボランティア

議会改革特別委員会

とき 11月5日(月)～6日(火)

◎岐阜県高山市
議会基本条例制定後の取り組みについて



【高山市の視察の様子】

経済雑誌の議会改革度調査で大幅に指標を向上させた高山市議会について、そのポイントとなった条例制定後の取り組み内容やその他の特徴的、先進的な取り組みを伺い、今後の議会の活動の参考になりました。

小浜市議会基本条例が可決

小浜市議会では、議会改革を進めており、その中の一つの取り組みとして「小浜市議会基本条例」の制定を目指してきました。

検討の中心組織である議会改革特別委員会では、同条例の策定に向けた研修会の開催、先進地への視察も含め、条例素案をまとめるまでに18回開催し、また、パブリックコメントを通じて皆様からのご意見を伺うなど、検討を重ねてきました。

特徴的などころとして、徹底的な議会情報の透明性確保に努めることはもちろん、市長等への反問権の付与、意見交換会や議会報告会の開催による市民協働を推進した議会活動、議員間の自由討議を中心とした議会運営を目指すことなど、今までの小浜市議会の流れが大きく変わる内容となっています。

本条例案は、12月定例会において、全会一致により可決され、平成25年4月から施行されます。

議会を傍聴しませんか

議会を傍聴する手続きは、市役所5階の議会事務局で、住所と氏名を書くだけです。

【3月定例会の予定】

- 2月25日(月) 本会議(開会)
- 2月26日(火) 本会議
- 3月14日(木) 一般質問
- 3月15日(金) 一般質問
- 3月25日(月) 本会議(閉会)



あなたの写真、表紙にしませんか？

小浜市議会広報委員会では、年4回発行する議会だよりの表紙を市民の皆様から募集しています。

写真は未発表のもので、市内で撮影したものに限りません。詳しくは、市議会ホームページまたはお問い合わせください。

編集後記

昨年より「議会だよりの」を今以上に親近感の持てるものを目指して取り組んでいます。議会がどのような事案・内容を議論・審議しているのかを市民の皆様により一層ご理解いただけるよう努力しております。

我々の議会運営に、市民の皆様のご意見をもっと今以上に反映させられればと考えており、それには当紙面の刷新も必要と考えており、市民の皆様と一緒に頑張ってまいります。

ご意見・ご要望など何でも結構です、どんどんお寄せください。(広報委員会 西本)